

旧江戸川を横断する高圧送電線がクレーン船により損傷を受けて大規模停電が起きた。正に文明社会の弱点を呈した格好だ。迂回ルートや早期復旧の方策など被害軽減策はどうなっているのか。最も米国の大規模停電騒動に比較すればまだまだが、・・・何れにしろ、今回凶らずも、将来起きるかもしれないゲリラやコマンドウの攻撃に対し余りにも脆弱であることを証明した格好だ。国民保護法が制定されて武力攻撃災害等への対処として「生活関連施設の安全確保の為の応急措置」を採る事が出来る様になったが、実態は甚だ心許ない。今回の送電線の事故はそういう意味で警鐘を鳴らしたと解するべきである。

さて、今朝 7 時過ぎに公約通りに小泉首相は靖国神社に参拝した。終戦記念日の公式参拝は中曽根首相以来 21 年振りであると言う。例によって中韓両国が騒ぎ始めるのだろうか。



昼頃、孫娘二人を連れて参拝した。昨年も多かったが、今年も相当な人出であった。報道の過熱振りに影響されたのか。若い人が意外に多かったのは悦ばしい事である。

論点は何か

- ① 日本人にとって靖国問題とは政教分離の問題ではなかったのか。何時の間にかA級戦犯合祀問題になってしまっている。問題点を明確にするべきである。
- ② A級戦犯合祀問題はその合祀後（S 5 3）においても政治・外交的に何ら問題でなかったものが、大勲が公式参拝（S 6 0）して以降、中韓両国に政治カードとして利用され始めたものである。原点が忘れ始めている。火付け役は朝日新聞である。1985年8月7日の特集記事で、所謂ネガティブキャンペーンを展開したのである。
- ③ 戦没者に対し哀悼の誠を捧げるのは国民として当然である。政治家とて同じだ。諸外国でも当然の行為である。
- ④ A級戦犯と言うが、それは飽くまでも東京裁判の判決であって、爾後名誉回復もされている。
- ⑤ A級を含む戦争指導者に対する日本人としての戦争責任の追及・検証は為されるべきであるが、冷静な判断が出来る環境で行うべきである。鎮魂と戦争責任は別問題である。
- ⑥ 富田メモの真贋は現時点では不明であるが、何れにしろ真実であったとしても天皇発言の政治利用は避けるべきである。
- ⑦ 靖国を政治問題化することが国益に適うのか、政治家やマスコミに再考を促したい。戦没者に対し、どの様に慰霊するかは優れて国内問題である。
- ⑧ 無宗教の別の慰霊施設が本当に必要か？中韓両国に阿っているだけではないのか。
- ⑩ 戦没者を靖国神社に祀るのは、いわば日本の文化である。墓を暴いて鞭打つような文化は我が国には馴染まない。
- ⑪ A級分祀後にはB、C級分祀も要求されないとの保証があるか。分祀に合理的説明があるか？外国が嫌がっているからと言うだけではないか。
- ⑫ 中韓両国以外は靖国問題に関心がない、何故ならそれは国内問題だと認識しているからである。

- ⑬ 戦没者に哀悼の誠を捧げることが戦争賛美などと言う論理の飛躍に驚くほかない。
- ⑭ 国民が挙って鎮魂できるような態勢を如何に構築するかを冷静に議論すべきだろう。